

学校名	新座市立池田小学校
実施日	平成30年 1月23日

<記入の仕方> ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、各授業において積極的・計画的・継続的に主体的・対話的で深い学びを推進するとともに、「ユニバーサルデザイン」の観点で児童一人一人の学びを保障しようとしている。	A	平成28年度3.38、平成29年度中間評価3.47から3.62へと向上。Aと回答した教師が6割を超えることから、教師一人一人が、児童の主体的な学習とユニバーサルデザインを推進し、すべての児童の学びを保障しようと意識してきたことがわかる。	A	・学校経営方針が職員に浸透し、一丸となった研究推進が図られている。・学校側の積極的な取組に、各学年の児童達の学んだことがよい方向に進んでいるのが目に見える。・28年度はB評価であったが、校長・教頭を中心に、先生方一人一人が児童に向き合い、学力向上を目指し取り組んでいる様子が見られる。・教職員の前向きな授業への取組により、学びが保障されている。
2	学校は児童の健全育成について家庭・地域・医療機関とも連携し、「積極的な生徒指導」の推進と豊かな心の育成において、すべての教育活動で指導している。	A	平成28年度3.33、平成29年度中間評価3.48から3.73へと向上。平成29年度共通努力項目「積極的な生徒指導」を授業・学校生活全般での指導ととらえ、良好な関係性を基盤とした、豊かな心の育成に取り組んでいる。全学年・学級において児童の課題を抱え込まず、保護者や関係機関と連携している。地域行事等への参加においてもPTAの協力を得て、家庭地域と連携した健全育成が推進されている。	A	・学校家庭及び諸機関との連携が密に行われていることにより、児童の健全育成の推進が図られていることが確認できた。・学校側の積極的な方針、PTAの方々の連携が特によい。充実感が感じられる。・個別の問題でも先生が丁寧に対応してくれていると感じた。地域の方、PTAの方との協力関係においても良好で、今後もさらに連携を強めていければよいと思う。・「積極的な生徒指導」については、授業生活ともに子供一人一人のことを考えていると思う。医療機関への受診等、学校側に求めるより保護者も協力していただきたい。(歯科など)
3	学校はPTA活動に対しすべての教職員が積極的に関わり、保護者(P)と教職員(T)の連携強化に努めている。さらに、課題を持った家庭には組織で対応し、当該保護者との連携を深めるなど、信頼関係の構築に努めている。	A	PTAの各取組に加え、開校45周年記念の広報誌編集に対し、各学年から写真提供を行うことで、立派な冊子が完成した。児童の教育について悩みを抱えている家庭について、担任だけでなく学年団、管理職、相談員、新座市教育相談室スクールソーシャルワーカー、新座市児童福祉課、所沢児童相談所など関係機関と連携しながら保護者の支援を行った。	A	・PTAと学校との良好な関係が記念行事や各活動からうかがわれた。・教職員とPTA役員の方々が、子供たちを立派に成長させるために協力している実感が伝わる。・45周年の記念の年に、学校とPTAと協力してもよい1年となった。50周年に向けて、準備を含め、連携しながら取り組んでほしい。支援が必要な家庭に対し、様々な機関と連携を取りながら支援していることは継続して行ってほしい。・立派な広報誌でした。学校PTAの連携がとれている証拠です。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	A	年度ごとの入替が多い中でも、各校務分掌がベテランを中心にそれぞれの取組の意図と必要性を引き継いで充実した取組を行っている。報連相がうまく機能しているこの体制を維持し、状況の変化に応じて対応し続けたい。	A	・学年会や分掌会等の機能が適切に行われ、意思統一が図られ推進されていると感じる。・教職員の積極的に教育に取り組む体制がよい。・若い教員や移動してきた教員の方々と一緒に学校活動を行っているように感じる。・引き継ぎがスムーズに行われているため、PTA行事についても混乱なく行えた。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	A	年度当初に「学校教育目標」具現化のための学校課題と重点、月ごとの視点を示し、全教職員の面談として目標の連鎖を行った。学期ごとに職員面談を実施、学校評価の中間・本評価からも児童・学校全体の成長が分かる。	A	・学校教育目標具現化に向けた職員一人一人の意識の高まりが見られる。・校長・教頭先生の教育に対し、教職員が大変よい職員になっている。・各教員の方の課題や不安などに、丁寧に対応しているように感じる。・個々の面談や目標の連鎖など、向上を目指し努力している。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう。危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	年度当初の危機管理マニュアルの読み合わせ。月1回の安全点検。学期1回の避難訓練に加え、状況に応じたエビペン使用やAED使用、嘔吐物処理などの研修を適時適切に実施。組織的迅速な対応ができる態勢を整えている。避難所開設等災害時の対応については、今後も市と連携した取組を模索する。	A	・危機管理に対し、職員一人一人がしっかり意識した取組や研修がなされている。子供たちの安全が第一である。日頃から訓練が必要である。・常に訓練やマニュアル確認を行い、教員全員が不安なく対応できるようにしてほしい。地域・PTAも同様に意識を高めていきたい。・学校内感染等の嘔吐物処理の研修を実施するなど、組織的に対応できている。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	A	池田っ子の一日、池田っ子の学習マナー、三中校区授業の4つのやくそく、学習用具のきまりを年度当初に確認。教室掲示し児童にも確認、共通行動がとれるようにしている。ユニバーサルデザインについても環境と授業の構造化、学級経営に関して12のポイントにまとめ共通理解を図り授業に取り入れている。平成28年度3.45から平成29年度本評価3.65と意識し	A	・学習内容理解に向けた取り組みせ方の工夫を感じる。・児童の1年間の学習を始め、教育の早さ、成長の早さに校長教頭教職員の方々に感謝しています。・ルールや目標設定に対して、どう指導していくか難しいと思いますが、掲示物等情報を伝えながら取り組んでいると思います。・小中の連携がとれており、学習マナーなど共通行動がとれていると思う。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	A	平成28年度3.15から平成29年度本評価3.60と6割の職員がAと回答した。一昨年度までの校内研究遺産「語彙ノート」の活用や問題解決的な思考・表現場面の確保、まとめと振り返りのある授業作りなど、説明的な一斉授業からの脱却をねらった授業作りが浸透しつつある。	A	・学力向上に向けていろいろな工夫を行っているのは評価できる。能力的に低く、理解困難児童等への学習内容の工夫等も考慮されたい。・池田小学校の方針は大変よいと思います。・言語を使つての表現力は、さらに求められていくと思います。さらなる育成をお願いします。・児童全体に浸透するのは時間がかかると思うが、子供たち一人一人が考え発言できる授業を期待する。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	A	今年度も各教科等の全体計画と年間指導計画を見直し、より主体的な学びを促進する体験的な学習を推進すべくカリキュラムマネジメントを行った。県学力学習状況調査で明らかになった学力を伸ばす指導についても共通理解を図り、どの学級でも取り入れられるようにした。個に応じた指導の充実を行い全体的な学力の向上に努めるのは今後の課題である。	A	・研究推進に力を注いでいるのは感じるが、全国や県平均と比較し不十分な点についての今後の取り組み方を見つめ直す必要性を感じる。・市教育委員会その他教育関係の方々の協力の下での「学力向上」で、池小の学力・能力が向上している。・学力テストをはじめ、日々の学習活動を丁寧に行ってくれていると思います。面談でも先生方からのテストを見ながらの説明は、とてもわかりやすく共通意識を持ちやすいです。・様々な取組により学力向上していると思うが、教職員の業務が心配である。その中で、個人への指導は難しいのでは。ボランティア等の協力があってもよいのでは。
10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	A	各学級担任と英会話講師が連携し、充実した実践が行われている。また、朝の時間や清掃中の音楽など、イメージ教育も継続して行われている。今後の英語教科化などの課題に対応すべく情報を収集し、平成30年度からの取組が円滑に行われるよう準備中である。	A	・今後の英語教育に向けてさらなる展開を期待します。・池田小学校では、ずいぶん前から英会話の授業を取り入れており、児童達も低学年のうちから英語を耳にしている大変素晴らしい。高学年は、中学前の準備として文法なども取り入れてくれるとよい。

評価項目「豊かな心の育成」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導し、成果をあげている。	B	平成28年度2.81から平成29年度中間評価3.00、本評価3.23と、指導の成果を実感することのできる職員が増えてきている。進んで挨拶ができる児童が増えてきているもの、できない児童もいる。現状に満足することなく、今後も粘り強く挨拶の大切さを伝える指導を行う。また、挨拶のしやすい明るい環境を今後も維持・増進していく。	B	・学校での教へのほか、家庭での取組への啓蒙が必要と思われる。学校内で来校者に進んで元気な声で挨拶している児童によく会います。気持ちのよい思いです。・学校家庭地域で、さらに取組を続けていきたいと思ひます。状況に応じた言葉遣い、説明などができるようにしたいです。・進んで挨拶できている子、恥ずかしくて挨拶できない子、まだまだ課題は多いと思ひますが、明らかに数年前より挨拶ができる子は増えていると思う。・限りなくAに近いB。子供たちともう一歩頑張りましょう。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さを認め合つて学校生活を送れるような環境を整備している。	A	平成28年度3.14から平成29年度本評価3.59と、いじめの根絶に向ける職員の意識が高まっている。平成29年度12月現在のいじめ認知件数は6。平成28年度の0から大きく増えているが、新座市立池田小学校いじめ防止基本方針をうけて児童の訴えに寄り添い、3ヶ月後まで見届け、関係性の向上を確認するなど、より根絶を徹底したためである。	A	・いじめへの取組の成果を感じる。見えないところでのいじめも考えられるので、「何でもポスト」などを設置するなど、困ったら伝えられる場の設置も必要かと思う。・アンケートや日々の教員と児童の会話など、また、教員の見守りから、一人一人を見つめ対応してくれていると感じます。・小さな意地悪がどんどん悪化しないよう、教職員・児童・保護者の信頼関係が必要だと思う。特に高学年のケアは慎重に願ひたい。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	A	今年度も、目指す教師像に「率先垂範」。共通努力事項に「凡事徹底」を掲げてきた。明るい挨拶については教師間でも常に心がけ、明るい環境作りに努めている。また、保護者・地域からの声を率直に受け入れ、教師一人一人の規範意識について管理職からの指導を行っている。	A	・率先垂範をモットーとした教職員の行動は、運動会や授業の様子から感じ取ることができた。校長・教頭の指導が各職員の方々の手本となっている。・学校に行くと、教員の方々の挨拶や何気ない一言にとってもよい雰囲気を感じます。今後よろしくお願ひします。・学校外でも教職員が明るい挨拶をしてください。今後とも児童のお手本になるよう継続していただきたい。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	A	大縄の取組や逆上がり教室など、学校全体で体力向上に取り組んでいる。また、本年度は新座市体力向上推進委員会の授業研究会と小学校体育連盟の授業研究会を実施。日常の体育授業においても児童の主体性や体力の向上を目指した提案を行うことができた。	A	・授業の中で、また休み時間の取り組ませ方の工夫を感じる。・子供たちは体育の授業や部活が大好きなように思います。体力向上には大変よいと思います。・様々な取組をしながら、児童が楽しみながら体力向上できるようにしている。・池田小学校は大縄に大変力を入れており、子供たちも意欲的に取り組んでいると思う。ボール遊びをする場所がないため、毎年ボール投げは県平均に達しておりません。校庭(放課後)でのボール遊びがもっとできるとよい。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	B	平成28年度の2.95から平成29年度中間評価3.05、本評価3.19と職員にも食育の推進が実感できてきている。主幹教諭が中心となって学校応援団と連携し、学校教育農園での栽培体験を推進。作物の栽培と収穫、給食利用までの一貫した取組が軌道に乗りつつある。	A	・食への意識を、年間を通して位置づけた指導計画が図られている。食への関心、給食の残量、調理員さんの願いや工夫などを取り入れていきたい。・給食試食会に参加させていただいたことがあります。栄養士の方がいるので栄養の面でもよいと思います。・学校農園の野菜を給食の材料に使うなど、子供たちの興味を引く努力をしている。・大根等、子供たちが喜んで栽培から収穫、食べるところまで学習している。今後も継続してほしい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、PTA活動や地域活動に関心を持ち、保護者・地域と連携協力している。	A	毎年の入替が激しいこの体制の中でも、今年度も滞りなく地域行事へのPTA連携、PTA行事への職員連携が行われた。地域行事への職員参加も少しずつ進められている。コミュニティ・スクール実施に向けた職員の啓発は今後の課題である。	A	・地域の方の協力は学校運営には不可欠ですが、教職員の積極的な姿勢なくして成り立たない。感謝の気持ちは常に必要。・地域行事に職員の参加ができるのでしたら是非参加願いたい。子供たちが大変喜ぶと思います。・50周年に向け、学校地域PTAと連携して取り組んでいきたいです。・PTA行事、地域行事が毎年順調に行われていることは学校側の協力が多大である。今後、コミュニティ・スクール実施に期待します。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	個人情報に配慮しながらも、学校家庭と地域をよりつなげていくために、表彰児童名や各種調査結果等について学校だよりに載せた。学校評議員会で話題が上がったやまざくらの保全については、地域と一体となった取組として今後の理解と協力を得るために積極的に発信している。	A	・学校だよりの内容が、保護者のニーズに合ったものとして発行されている。・日々の様子がHPお便りによく伝わってきます。先生からの一言もあると楽しいかもしれません。・毎年個人情報について過敏になってきている中での学校だより等ですが、表彰児童の名前記載は子供たちのやる気にもつながるのでできる範囲で記載してほしい。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A	学校応援団、町内会組織の協力により、今年度も児童の登下校の安全や環境整備が円滑に行われた。大変有り難いことであり、感謝申し上げます。心の声かけ運動等でご協力頂いたおかげで、児童の挨拶向上が実感できてきている。宅地造成に伴い、通学路の変更等が行われつつある。地域と適切に連携し、今後も登下校の安心安全につなげたい。	A	・町内会・敬老会との連携が密に行われており、学校運営及び教育活動に適切に機能している。・見守り会(児童)下校の生徒さんに声をかけ、顔見知りになり、挨拶向上によいと思います。・さらなる協力、連携ができると思います。・町内会老人会の協力により、登下校の見守りをいただき、大変助かっている。PTAでは町内会老人会を招待して給食交流会を実施し、子供たちとの交流もでき挨拶につながっていると思う。